

## 第 6 回総合開発審議会協議状況報告

ご意見等	対応
<p><b>第 5 回総合開発審議会協議状況報告について</b> (神谷会長) 前回の審議会後にパブリックコメントはあったのか。</p> <p><b>基本構想(案)について</b> (與儀委員) P28 「学校教育の充実」の文章中「幼児・児童生徒」を「幼児児童生徒」にした方が良い。</p> <p>(神谷会長) 前回審議会で問題となった「備蓄倉庫」の問題を総合計画に示していくのか。もしくは、もう少し議論したほうが良いのか。 県や他市町村の備蓄現況はどのように維持管理しているのか。 備蓄問題について基本計画に記載する方向で検討して良いか。</p> <p>(全委員) その方向で検討して良い。</p> <p>(神谷会長) 今後本庁舎や公共施設を建築する場合、バリアフリーの整備は考えているのか。</p> <p>(小野委員) 八重瀬町の北部地区は那覇市のベッドタウンとなっており開発されてきているが、海岸沿いの南部地区には、開発はおきていないのか。 今後開発されていく可能性もでてくるので、対応策を考えていく必要がある。</p> <p>(國吉委員) P24 「住宅・生活環境の整備」に「自然</p>	<p><b>第 5 回総合開発審議会協議状況報告について</b></p> <p>前回の審議会後からパブリックコメントとして住民からの意見はない。</p> <p><b>基本構想(案)について</b></p> <p>「幼児児童生徒」に修正する。</p> <p>県や他市町村の状況は確認していない。本町では、ダンボール 2 箱程度の乾パンを保管している。 防災計画の見直しを行い、備蓄の内容は基本計画の方に記載していくと担当課と調整を行った。</p> <p>資料 P27 「障がい者福祉の充実」の方で謳っている。また、法律等(ハートビル法、沖縄県福祉のまちづくり条例)でも公共施設はバリアフリー化にするよう謳われている。</p> <p>町外の方からの建築は多少あるが、南城市のような大きな開発は起きていない。</p> <p>町民からの要望がある。</p>

<p>や田園環境と調和した新たな住宅地開発の拡大」とあるが、宜次や友寄などの土地改良を見直していく考えなのか。</p> <p>(神谷会長)</p> <p>北部地区一帯は、住宅が増加し都市化が進んでいることから市街化区域への編入を検討していると聞いている。</p> <p>(國吉委員)</p> <p>住宅地を拡大していく事は、宅地が足りていないのか。</p> <p>(神谷会長)</p> <p>小城の非農用地区域は、農業者担い手育成のための宅地造成となっている。</p> <p>(國吉委員)</p> <p>那覇市のベッドタウンという理由で、都市化を拡大するには議論が必要となってくる。八重瀬町は田園都市と謳っているのに宅地を増加させていくと田園風景がなくなってくる。</p> <p>(小野委員)</p> <p>「拡大」を外した方が良い。「スプロール」のイメージがでてくる。「新たな住宅地整備を適切に誘導する・・・」と表現した方が良い。</p> <p>(玉城委員)</p> <p>少子高齢化と言われている時代に宅地が必要になってくるのか。</p> <p>(國吉委員)</p> <p>環境が良いので、町外からの需要はある。</p> <p>(小野委員)</p> <p>最近那覇市等の中心市街地から人が減ってきていることから、周辺市町村への転入が増えつつある。</p> <p>(神谷会長)</p> <p>小城の土地を求めてくる人もいることから小城地区は需要がある。富盛地区は需要が低い事から、地域によって需要のニーズが違ってきている。</p> <p>(國吉委員)</p> <p>農業の担い手を増やさないと農業政策がなされていないと感じる。農業で稼いでいくのは厳しい時代であり、農業は自然に潰れていって</p>	<p>東風平側の数箇所の地区に、非農用地を新たに設定したい旨の計画があるため、総合計画に謳っておかないといけない。</p>
---	---

<p>しまう恐れがあるので、総合的なまちづくりが必要である。また、必ず見直しの時期が出てくるので、そのためにも、農地は残しておくべきである。</p> <p>(神谷会長)</p> <p>将来像でも「自然共生のまち」と謳っているので、活かしていくことが大事となってくる。</p> <p>(宮城副会長)</p> <p>八重瀬町の将来人口は30,000人と設定しているが、新たな開発による用地の確保で30,000人と設定しているのか。</p> <p>(神谷会長)</p> <p>土地利用の構想を「北部、中部、南部」で区分しているが、この区分で決定していくのか。</p> <p>八重瀬町は南北に連なる町なので、「北部、中部、南部」の3区分のほうが解かりやすい。また、合併したので、「東風平・具志頭」をつけないほうが一体感が出てくる。</p> <p>(小野委員)</p> <p>P25 「自然環境・生活環境の保全」の2番目の文章中の「植栽等」を「緑陰を増やし」に変更した方が良い。</p> <p>植栽は美化や花を植える等の意味になってくる。前段で「世名城・当銘のガジュマル」や「具志頭の福木」等の名木を述べているので、これらの名木を保全していくと共に、樹木を増やしていくことが重要になってくる。</p> <p>樹木があると影が出来て涼しくなる。地球温</p>	<p>P24 「住宅・生活環境の整備」の「新たな住宅地開発の拡大を適切に誘導・・・」の「拡大」を削除する。</p> <p>伊覇・屋宜原土地区画整理事業や小城非農用地土地改良等の開発による将来人口で設定している。</p> <p>P23 「市街地及び集落整備」にも謳っているが、国土利用計画、都市計画マスタープランで、具体的な内容を示すことになっている。</p> <p>国土利用の策定にあたっては、旧東風平地区は4地区、旧具志頭地区は3地区の7地区で分けている。</p> <p>八重瀬町を説明するに当たり、7地区で表現すると読み取りにくいことから、「北部、中部、南部」の3区分にしている。</p> <p>国土利用計画や他の計画もあるので、区分けについては、今後も議論が必要となってくる。</p> <p>今回は八重瀬町の位置と地勢を説明するために3区分に分けていることをご理解いただきたい。</p> <p>「植栽等」を「緑陰を増やすなど」に修正する。</p>
---	--

暖化や CO2 の削減にも繋がってくる。また、田園との調和も図れる。

( 與儀委員 )

P29 「研修活動やボランティア活動」とあるが、具体的な考えはあるのか。人材育成は、色々な分野で育成されると思うが、研修活動やボランティア活動で人材が育成されるのか。

( 神谷会長 )

「いのちを育む」とはどのような表現なのか。いのちを大切にすることと理解できる人を育むという意味合いなのか。

( 小野委員 )

青少年が健全に育っていないくて、子どもを健全に育てていく意味なのか。

( 神谷会長 )

いのちを大切にすることという人づくりをするという意味合いになるのか。

教育環境において、上級学校へ通うための奨学金制度はあるのか。また、その活用状況はどうなっているのか。

( 新垣(清)委員 )

年間 1,200 万の予算がある。

( 與儀委員 )

30 名程度奨学金制度を受けていると聞いている。

( 神谷会長 )

奨学金制度を今後も充実させていく表現は入れないでも良いか。

( 小野委員 )

「いのちを大切にすること」のようにわかりやすい表現に変更した方が良い。

( 國吉委員 )

人材育成は、いのちを育む人づくりを推進することと繋がるのか。

人材の育成は、いのちを育む人づくりの内容だけ( 2 番目の文章 )として捉えて良いのか。生涯学習の充実とは別々の内容になってくる

全国的にも使われており、町民憲章でも謳っている文言である。

地域と学校が連携した人づくりの意味合いになってくる。

年間 1,000 万の予算があると聞いている。

人材育成をするために研修活動やボランティア活動等があるが、奨学金制度も盛り込んでいける。

「生涯学習の充実・人材の育成の推進」の項

<p>のか。</p> <p>(新垣(清)委員) 基本計画の中で人材育成は出てこないのか。</p> <p>(國吉委員) 基本構想では、幅広い内容で捉えた方が 良い。</p> <p>(神谷会長) 幅広い内容にするので、項目を2つに分ける 必要はない。</p> <p>(玉城委員) 「いのちを育む」より「いのちを大切にす る」の方が解かりやすい。</p> <p>(小野委員) 「家庭・学校・地域・行政が一体となっ て、幅広い人材を育成します。研修活動やボラン ティア活動の推進により、青少年の健全育成を 図りいのちを大切にす人づくりを推進しま す。」の方が幅広く捉えられる。</p>	<p>目を別々に分けたほうが良いか。また、文章を 次回の審議会までに、もう少しわかりやすく表 現していく。</p> <p>そのように修正する。</p>
--	---